



2021年10月29日

沖縄電力株式会社

## 2021年度 第2四半期決算について

### 1. 販売の状況

当第2四半期の販売電力量は、電灯については、他事業者への契約切り替えや夏場の気温が前年に比べ低めに推移したことなどによる需要減により、前年同期を下回りました。電力については、前年に比べ、他事業者への契約切り替えや気温影響による需要減があったものの、新型コロナウイルスによる影響が弱まったことなどによる需要増により、前年同期並みとなりました。

この結果、電灯と電力の販売電力量合計は、前年同期に比べ1.9%減の38億23百万kWhとなりました。

### 2. 収支の状況

当第2四半期の収支の状況について、収入面では、電気事業において、「収益認識に関する会計基準」等の適用による電灯電力料（再エネ賦課金）および再エネ特措法交付金の減少はあるが、他社販売電力料などの増加があり、売上高（営業収益）は前年同期に比べ167億14百万円減の877億82百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において、「収益認識に関する会計基準」等の適用による再エネ特措法納付金および他社購入電力料の減少はあるが、燃料費などの増加があり、営業費用は前年同期に比べ109億44百万円減の826億27百万円となりました。

この結果、営業利益は前年同期に比べ57億69百万円減（52.8%減）の51億55百万円となりました。

また、営業外損益を含めた経常利益は56億50百万円減（52.7%減）の50億74百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は44億3百万円減（53.4%減）の38億47百万円となりました。

なお、当年度の中間配当金については、1株につき30円といたします。

### 3. 連結業績予想

2021年度通期の連結業績予想については、電気事業において、燃料費調整制度の影響や販売電力量の増加および他社販売電力料などの増加により、売上高は前回発表（2021年7月30日）より61億円増（3.6%増）の1,746億円を見込んでおります。

利益については、電気事業において、燃料費や他社購入電力料などの増加により、営業利益は8億円減（11.8%減）の60億円、経常利益は8億円減（12.3%減）の57億円、親会社株主に帰属する当期純利益は5億円減（10.6%減）の42億円を見込んでおります。

別紙：決算の概要

以上

## 【決算の概要】

## ■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	2020年度 第2四半期累計 (実績)	2021年度 第2四半期累計 (実績)	増減	増減率
電 灯	1,656	1,579	△77	△4.6%
電 力	2,243	2,244	+1	+0.1%
合 計	3,899	3,823	△76	△1.9%

## ■連結経営成績

(単位：百万円)

	2020年度 第2四半期累計 (実績)	2021年度 第2四半期累計 (実績)	増減	増減率※
売 上 高	104,496	87,782	△16,714	—
営 業 利 益	10,924	5,155	△5,769	△52.8%
経 常 利 益	10,724	5,074	△5,650	△52.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,251	3,847	△4,403	△53.4%

※2021年度の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しており、2021年度第2四半期に係る売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。このため、売上高の増減率は記載しておりません。なお、「収益認識に関する会計基準」等の適用による2021年度第2四半期の業績への影響額は、186億55百万円の売上高減となります。

## ○連結業績予想（2021年度通期）

連結業績予想については、2021年7月30日に公表した予想数値から修正しております。

## ■連結業績予想（対7月公表値）

(単位：百万円)

	2021年度通期 前回発表予想数値 (7月公表)	2021年度通期 今回発表予想数値	増減 (対7月公表)	2020年度 実績
売 上 高	168,500	174,600	+6,100	190,520
営 業 利 益	6,800	6,000	△800	12,619
経 常 利 益	6,500	5,700	△800	11,335
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,700	4,200	△500	8,341

上記業績予想（今回発表予想数値）には、新型コロナウイルス感染拡大の影響として、販売電力量の減（△124百万 kWh）を織り込んでおります。